

令和5年度学校保健統計調査結果（高知県分）

【調査の概要】

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るものである。

2 調査事項

児童等の発育状態（身長、体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）

3 調査の対象

調査の対象は、文部科学大臣が指定する幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び高等学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（令和5年4月1日現在）までの児童等の一部（抽出調査）。

〈調査実施校数及び調査対象者数〉

区 分	調査実施校 (校・園)	発育状態調査		健康状態調査	
		調査対象者(人)	抽出率(%)	調査対象者(人)	抽出率(%)
幼稚園	27	794	64.7	850	69.3
小学校	58	5,148	17.0	20,162	66.5
中学校	38	4,035	24.6	11,990	73.0
高等学校	24	2,045	12.4	13,263	80.6
計	147	12,022	18.7	46,265	71.8

(注) 1. 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

2. 幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む(以下同じ)。

3. 小学校及び中学校の抽出率は、それぞれ義務教育学校の第1学年から第6学年までの児童数及び第7学年から第9学年までの生徒数を含む割合としている。

4 調査系統

文部科学大臣⇄都道府県知事⇄調査実施校の長

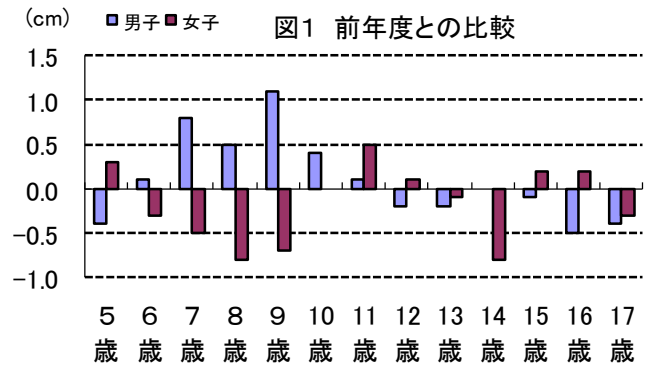
【調査結果の概要】

1 発育状態

(1) 身長

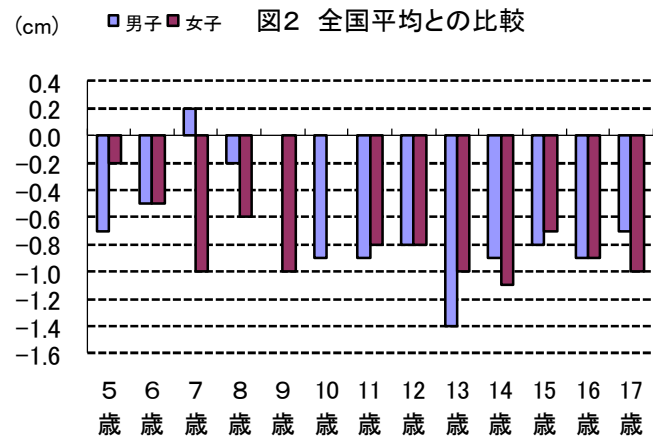
①前年度との比較 (図1)

- ・男子は6、7、8、9、10、11歳で前年度より増加している。
- ・女子は5、11、12、15、16歳で前年度より増加している。



②全国平均との比較 (図2)

- ・男子は、7、9歳を除く年齢で全国平均を下回っており、13歳では1.4cm低くなっている。
- ・女子は、10歳を除く年齢で全国平均を下回っており、14歳では1.1cm低くなっている。



③親世代 (30年前) との比較 (図3)

30年前の平成5年度と比較すると、

- ・男子は5、6、15、16、17歳を除く年齢で親世代を上回っており、12歳では2.5cm高くなっている。
- ・女子は、6、7、13、14、16、17歳を除く年齢で親世代を上回っており、10歳では2.3cm高くなっている。

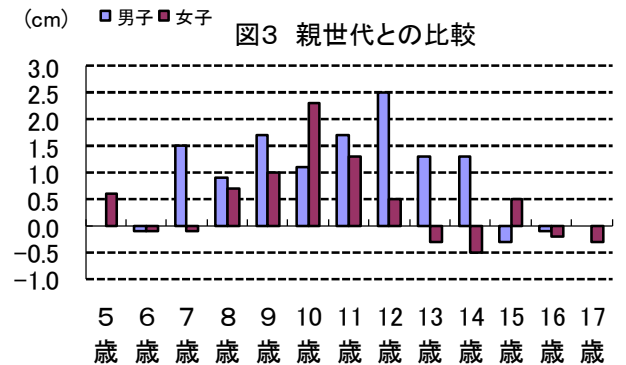


表1 年齢別身長の平均値

区分	年齢	男子							女子						
		H5年度 (30年前)	R4年度	R5年度	増減		全国		H5年度 (30年前)	R4年度	R5年度	増減		全国	
					対30年前	対前年度	R5年度	高知-全国				対30年前	対前年度	R5年度	高知-全国
幼稚園	5歳	110.3	110.7	110.3	0.0	△ 0.4	111.0	△ 0.7	109.4	109.7	110.0	0.6	0.3	110.2	△ 0.2
小学校	6歳	116.5	116.3	116.4	△ 0.1	0.1	116.9	△ 0.5	115.6	115.8	115.5	△ 0.1	△ 0.3	116.0	△ 0.5
	7歳	121.7	122.4	123.2	1.5	0.8	123.0	0.2	121.2	121.6	121.1	△ 0.1	△ 0.5	122.1	△ 1.0
	8歳	127.5	127.9	128.4	0.9	0.5	128.6	△ 0.2	126.5	128.0	127.2	0.7	△ 0.8	127.8	△ 0.6
	9歳	132.4	133.0	134.1	1.7	1.1	134.1	0.0	132.4	134.1	133.4	1.0	△ 0.7	134.4	△ 1.0
	10歳	137.6	138.3	138.7	1.1	0.4	139.6	△ 0.9	139.1	141.4	141.4	2.3	0.0	141.4	0.0
中学校	11歳	143.6	145.2	145.3	1.7	0.1	146.2	△ 0.9	145.8	146.6	147.1	1.3	0.5	147.9	△ 0.8
	12歳	150.9	153.6	153.4	2.5	△ 0.2	154.2	△ 0.8	151.0	151.4	151.5	0.5	0.1	152.3	△ 0.8
	13歳	158.4	159.9	159.7	1.3	△ 0.2	161.1	△ 1.4	154.3	154.1	154.0	△ 0.3	△ 0.1	155.0	△ 1.0
高等学校	14歳	163.8	165.1	165.1	1.3	0.0	166.0	△ 0.9	155.8	156.1	155.3	△ 0.5	△ 0.8	156.4	△ 1.1
	15歳	168.1	167.9	167.8	△ 0.3	△ 0.1	168.6	△ 0.8	156.0	156.3	156.5	0.5	0.2	157.2	△ 0.7
	16歳	169.1	169.5	169.0	△ 0.1	△ 0.5	169.9	△ 0.9	157.1	156.7	156.9	△ 0.2	0.2	157.8	△ 0.9
	17歳	170.0	170.4	170.0	0.0	△ 0.4	170.7	△ 0.7	157.3	157.3	157.0	△ 0.3	△ 0.3	158.0	△ 1.0

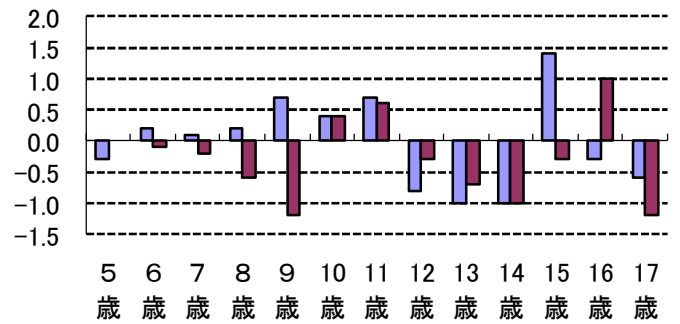
(注) 1. 年齢は、各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。
 2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。
 3. 「△」は減少を示す。以下の各表において同じ。

(2) 体重

①前年度との比較 (図4)

- ・男子は、6、7、8、9、10、11、15歳で前年度より増加している。
- ・女子は、10、11、16歳で前年度より増加している。

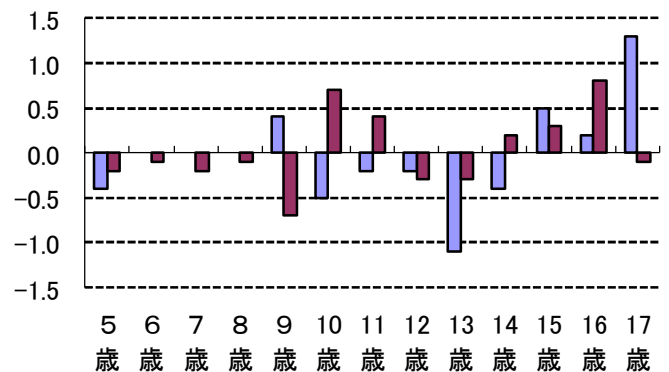
(kg) ■男子 ■女子 図4 前年度との比較



②全国平均との比較 (図5)

- ・男子は、9、15、16、17歳で全国平均を上回っており、17歳では1.3kg重くなっている。
- ・女子は、10、11、14、15、16歳で全国平均を上回っており、16歳では0.8kg重くなっている。

(kg) ■男子 ■女子 図5 全国平均との比較



③親世代 (30年前) との比較 (図6)

- 30年前の平成5年度と比較すると、
- ・男子は、5歳を除く年齢で親世代を上回っており、12歳では2.1kg重くなっている。
 - ・女子は、6、13、14、17歳を除く年齢で親世代を上回っており10歳では2.2kg重くなっている。

(kg) ■男子 ■女子 図6 親世代との比較

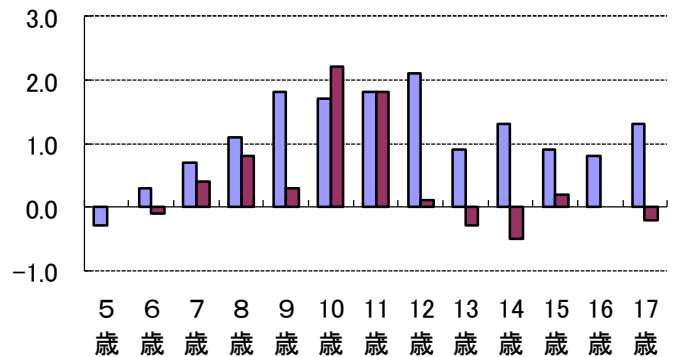


表2 年齢別体重の平均値

区分	年齢	男子								女子							
		H5年度 (30年前)	R4年度	R5年度	増減		全国		H5年度 (30年前)	R4年度	R5年度	増減		全国			
					対30年前	対前年度	R5年度	高知-全国				対30年前	対前年度	R5年度	高知-全国		
					△	△						△	△				
幼稚園	5歳	19.1	19.1	18.8	0.3	0.3	19.2	0.4	18.7	18.7	18.7	0.0	0.0	18.9	0.2		
小学校	6歳	21.3	21.4	21.6	0.3	0.2	21.6	0.0	21.2	21.2	21.1	0.1	0.1	21.2	0.1		
	7歳	23.8	24.4	24.5	0.7	0.1	24.5	0.0	23.4	24.0	23.8	0.4	0.2	24.0	0.2		
	8歳	26.7	27.6	27.8	1.1	0.2	27.8	0.0	26.1	27.5	26.9	0.8	0.6	27.0	0.1		
	9歳	30.0	31.1	31.8	1.8	0.7	31.4	0.4	30.0	31.5	30.3	0.3	1.2	31.0	0.7		
	10歳	33.1	34.4	34.8	1.7	0.4	35.3	0.5	33.8	35.6	36.0	2.2	0.4	35.3	0.7		
	11歳	37.9	39.0	39.7	1.8	0.7	39.9	0.2	38.8	40.0	40.6	1.8	0.6	40.2	0.4		
中学校	12歳	43.5	46.4	45.6	2.1	0.8	45.8	0.2	44.1	44.5	44.2	0.1	0.3	44.5	0.3		
	13歳	48.6	50.5	49.5	0.9	1.0	50.6	1.1	47.6	48.0	47.3	0.3	0.7	47.6	0.3		
	14歳	53.2	55.5	54.5	1.3	1.0	54.9	0.4	50.5	51.0	50.0	0.5	1.0	49.8	0.2		
高等学校	15歳	58.6	58.1	59.5	0.9	1.4	59.0	0.5	51.3	51.8	51.5	0.2	0.3	51.2	0.3		
	16歳	59.8	60.9	60.6	0.8	0.3	60.4	0.2	53.0	52.0	53.0	0.0	1.0	52.2	0.8		
	17歳	62.0	63.9	63.3	1.3	0.6	62.0	1.3	52.7	53.7	52.5	0.2	1.2	52.6	0.1		

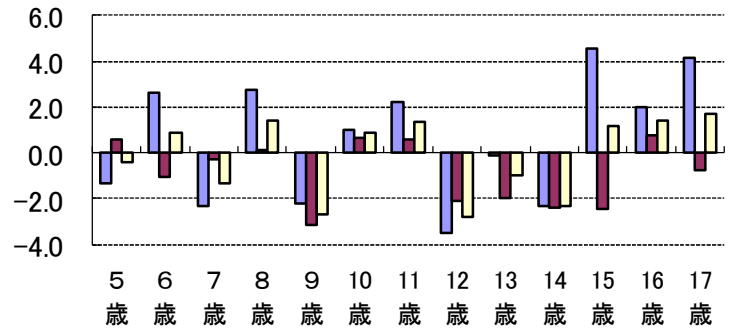
(注) 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差、全国平均差及び世代間差の男女それぞれの増加分の最大値を示す。

2 肥満傾向児の出現率

(1) 前年度との比較 (図7)

- ・男子は、6、8、10、11、15、16、17歳で前年度より増加している。
- ・女子は、5、8、10、11、16歳で前年度より増加している。

(%) ■男子 ■女子 □男女計 図7 前年度との比較



(2) 全国平均との比較 (図8)

- ・男子は、5、7歳を除く年齢で全国平均を上回っており、17歳では5.33ポイント高くなっている。
- ・女子は、7、9歳を除く年齢で全国平均を上回っており、11歳では2.68ポイント高くなっている。

(%) ■男子 ■女子 □男女計 図8 全国平均との比較

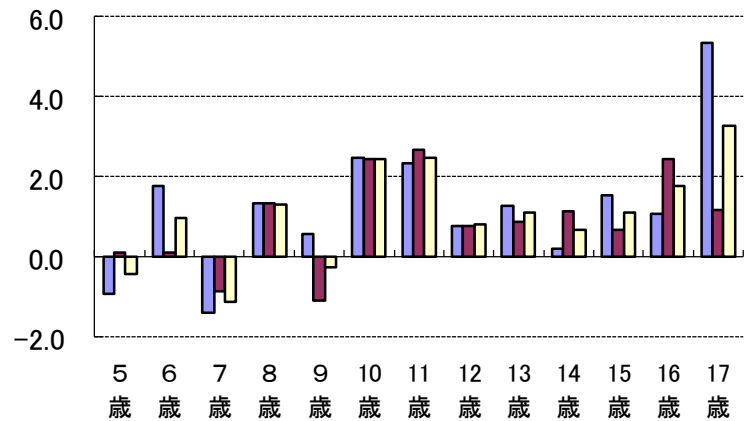


表3 肥満傾向児の出現率

(%ポイント)

区分	R4年度	R5年度	計			男子					女子					
			対前年度	全国	高一全国	R4年度	R5年度	対前年度	全国	高一全国	R4年度	R5年度	対前年度	全国	高一全国	
幼稚園	5歳	3.17	2.77	△ 0.40	3.20	△ 0.43	3.46	2.12	△ 1.34	3.06	△ 0.94	2.89	3.46	0.57	3.35	0.11
小学校	6歳	4.97	5.85	0.88	4.87	0.98	4.15	6.81	2.66	5.03	1.78	5.82	4.80	△ 1.02	4.71	0.09
	7歳	7.53	6.20	△ 1.33	7.34	△ 1.14	8.30	5.96	△ 2.34	7.36	△ 1.40	6.75	6.45	△ 0.30	7.31	△ 0.86
	8歳	9.13	10.56	1.43	9.24	1.32	8.48	11.21	2.73	9.87	1.34	9.81	9.91	0.10	8.58	1.33
	9歳	13.45	10.79	△ 2.66	11.03	△ 0.24	15.00	12.78	△ 2.22	12.20	0.58	11.86	8.71	△ 3.15	9.82	△ 1.11
	10歳	12.79	13.65	0.86	11.21	2.44	14.75	15.77	1.02	13.30	2.47	10.79	11.46	0.67	9.02	2.44
	11歳	12.52	13.90	1.38	11.41	2.49	13.19	15.39	2.20	13.05	2.34	11.80	12.38	0.58	9.70	2.68
中学校	12歳	15.04	12.27	△ 2.77	11.47	0.80	17.75	14.28	△ 3.47	13.50	0.78	12.18	10.11	△ 2.07	9.33	0.78
	13歳	12.36	11.35	△ 1.01	10.26	1.09	13.32	13.21	△ 0.11	11.93	1.28	11.33	9.38	△ 1.95	8.50	0.88
	14歳	12.11	9.77	△ 2.34	9.09	0.68	13.04	10.70	△ 2.34	10.48	0.22	11.15	8.78	△ 2.37	7.64	1.14
高等学校	15歳	10.45	11.60	1.15	10.48	1.12	9.66	14.22	4.56	12.68	1.54	11.30	8.84	△ 2.46	8.17	0.67
	16歳	9.21	10.64	1.43	8.87	1.77	9.75	11.74	1.99	10.65	1.09	8.66	9.45	0.79	7.02	2.43
	17歳	10.53	12.26	1.73	8.99	3.27	11.44	15.62	4.18	10.29	5.33	9.57	8.80	△ 0.77	7.64	1.16

(注)1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

肥満度=(実測体重-身長別標準体重)÷身長別標準体重×100(%)

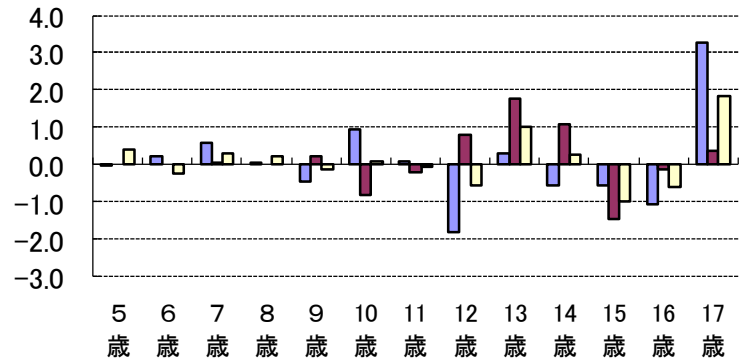
2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

3 痩身傾向児の出現率

(1) 前年度との比較 (図9)

- ・男子は、5、9、12、14、15、16歳を除く年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、7、9、12、13、14、17歳で前年度より増加している。

(%) ■男子 ■女子 □男女計 図9 前年度との比較



(2) 全国平均との比較 (図10)

- ・男子は7、10、16、17歳を除く年齢で全国平均を下回っており、12歳では2.00ポイント低くなっている。
- ・女子は、7、8、10、11、12、15、17歳で全国平均を下回っており、11歳では1.87ポイント低くなっている。

(%) ■男子 ■女子 □男女計 図10 全国平均との比較

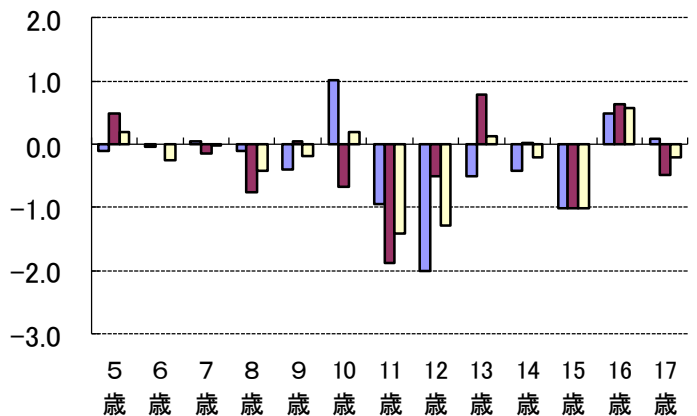


表4 痩身傾向児の出現率

区分	年齢	計					男子					女子				
		R4年度	R5年度	対前年度	全国	高知-全国	R4年度	R5年度	対前年度	全国	高知-全国	R4年度	R5年度	対前年度	全国	高知-全国
幼稚園	5歳	0.11	0.50	0.39	0.31	0.19	0.22	0.20	△ 0.02	0.30	△ 0.10	-	0.82	-	0.33	0.49
小学校	6歳	0.42	0.18	△ 0.24	0.43	△ 0.25	0.11	0.35	0.24	0.39	△ 0.04	0.74	-	-	0.47	-
	7歳	0.25	0.56	0.31	0.59	△ 0.03	0.10	0.67	0.57	0.62	0.05	0.39	0.43	0.04	0.57	△ 0.14
	8歳	0.39	0.61	0.22	1.03	△ 0.42	0.77	0.82	0.05	0.92	△ 0.10	-	0.40	-	1.16	△ 0.76
	9歳	1.83	1.70	△ 0.13	1.89	△ 0.19	1.73	1.26	△ 0.47	1.67	△ 0.41	1.93	2.17	0.24	2.12	0.05
	10歳	2.63	2.70	0.07	2.52	0.18	2.30	3.25	0.95	2.24	1.01	2.96	2.13	△ 0.83	2.80	△ 0.67
	11歳	1.57	1.51	△ 0.06	2.92	△ 1.41	1.95	2.04	0.09	2.99	△ 0.95	1.17	0.98	△ 0.19	2.85	△ 1.87
中学校	12歳	3.09	2.54	△ 0.55	3.83	△ 1.29	3.24	1.43	△ 1.81	3.43	△ 2.00	2.93	3.74	0.81	4.25	△ 0.51
	13歳	2.10	3.11	1.01	2.99	0.12	1.82	2.13	0.31	2.64	△ 0.51	2.40	4.15	1.75	3.36	0.79
	14歳	2.43	2.68	0.25	2.89	△ 0.21	2.94	2.39	△ 0.55	2.81	△ 0.42	1.90	2.98	1.08	2.97	0.01
高等学校	15歳	3.78	2.77	△ 1.01	3.79	△ 1.02	3.76	3.20	△ 0.56	4.21	△ 1.01	3.79	2.32	△ 1.47	3.34	△ 1.02
	16歳	4.13	3.53	△ 0.60	2.96	0.57	4.95	3.88	△ 1.07	3.40	0.48	3.28	3.14	△ 0.14	2.49	0.65
	17歳	0.70	2.54	1.84	2.75	△ 0.21	0.28	3.54	3.26	3.46	0.08	1.15	1.52	0.37	2.01	△ 0.49

(注) 1. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

肥満度=(実測体重-身長別標準体重)/身長別標準体重×100(%)

2. 網掛け部分は、5~17歳のうち前年度差及び全国平均差の男女計、男子及び女子それぞれの増加分の最大値を示す。

4 健康状態

(1) 主な疾病・異常の被患率（被患率別）

- ・幼稚園、小学校においては、「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高く、次いで、「裸眼視力1.0未満の者」の順となっている。
- ・中学校、高等学校においては、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順となっている。

表5 学校種別疾病・異常の被患率順位

順位	幼稚園		順位	小学校		順位	中学校		順位	高等学校	
	区分	%		区分	%		区分	%		区分	%
1	むし歯(う歯)	22.4	1	むし歯(う歯)	41.6	1	裸眼視力1.0未満の者	61.9	1	裸眼視力1.0未満の者	70.1
2	裸眼視力1.0未満の者	21.8	2	裸眼視力1.0未満の者	35.5	2	むし歯(う歯)	25.6	2	むし歯(う歯)	38.7
3	顎関節	15.4	3	顎関節	21.0	3	歯列・咬合	15.0	3	歯列・咬合	22.7
4	歯垢の状態	8.9	4	歯列・咬合	20.6	4	顎関節	10.6	4	顎関節	16.0
5	歯列・咬合	7.0	5	鼻・副鼻腔炎疾患	6.7	5	鼻・副鼻腔炎疾患	8.4	5	鼻・副鼻腔炎疾患	9.0
6	鼻・副鼻腔炎疾患	3.2	6	耳疾患	4.9	6	その他の疾病・異常	6.3	6	歯垢の状態	8.6
7	その他の疾病・異常	3.0	7	歯垢の状態	4.3	7	心電図異常	4.2	7	その他の疾病・異常	8.4
8	口腔咽喉頭疾患・異常	1.8	8	(歯・口腔)その他の疾病・異常	3.8	8	(歯・口腔)その他の疾病・異常	4.1	8	心電図異常	4.2
9	アトピー性皮膚炎	1.8	9	アトピー性皮膚炎	3.4	9	歯垢の状態	3.7	9	(歯・口腔)その他の疾病・異常	4.1
10	眼の疾病・異常	1.6	10	その他の疾病・異常	2.9	10	アトピー性皮膚炎	2.4	10	アトピー性皮膚炎	2.7

表6 主な疾病・異常の被患率(被患率別)

(%)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳鼻咽喉頭			歯・口腔			アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患	鼻疾・副鼻腔患	口疾患・咽・喉異常	むし歯(う歯)							
							計	処完了者	未処置者					
幼稚園	5歳	21.8	1.2	1.6	1.0	3.2	1.8	22.4	7.0	15.4	1.8	…	-	1.1
小学校	計	35.5	10.9	0.5	4.9	6.7	1.4	41.6	20.6	21.0	3.4	2.7	0.6	1.6
	6歳	19.9	1.3	0.9	12.8	10.4	3.9	33.9	11.4	22.5	3.3	2.7	0.4	2.0
	7歳	27.8	4.0	0.5	1.7	3.6	0.8	42.3	19.0	23.2	4.1	…	0.4	1.3
	8歳	32.0	8.4	1.1	4.0	8.7	0.5	47.1	22.4	24.7	1.7	…	0.5	1.0
	9歳	38.5	11.7	0.1	6.4	6.2	2.4	48.2	25.9	22.3	2.8	…	0.4	0.9
	10歳	43.5	17.4	0.5	3.5	8.1	0.7	41.7	23.1	18.6	3.8	…	0.9	2.5
中学校	計	49.3	21.5	0.1	1.6	3.7	0.2	36.0	20.8	15.3	4.3	…	1.1	1.7
	12歳	61.9	28.1	2.2	1.4	8.4	0.8	25.6	15.0	10.6	2.4	4.2	1.9	1.2
	13歳	61.3	X	2.9	3.7	11.6	1.1	23.3	13.9	9.4	3.4	4.2	1.7	1.3
	14歳	63.0	X	0.5	0.2	5.2	0.7	25.2	16.1	9.2	1.9	…	1.9	1.3
高等学校	計	61.4	X	3.1	0.5	8.5	0.6	28.1	15.1	13.0	1.9	…	2.0	1.0
	15歳	70.1	44.7	0.9	0.2	9.0	0.3	38.7	22.7	16.0	2.7	4.2	0.9	1.3
	16歳	71.3	43.4	1.0	0.2	8.7	0.3	31.7	19.0	12.7	3.1	4.2	1.0	1.1
中学校	17歳	X	X	0.7	0.1	8.5	0.2	39.8	22.7	17.1	2.3	…	0.9	1.5
	17歳	74.9	50.7	1.0	0.3	9.6	0.3	44.7	26.4	18.2	2.8	…	0.9	1.2

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。

2. 「-」は、数値がなかった場合である。

3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

(2) 主な疾病・異常の被患率

①前年度比較

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、中学校では前年度を上回っているが、小学校、高等学校では下回っている。(図 11)
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園、小学校、高等学校では前年度を上回っているが、中学校では下回っている。(図 12)
- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、全ての区分で前年度を下回っている。(図 13)
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、全ての区分で前年度を上回っている。(図 14)

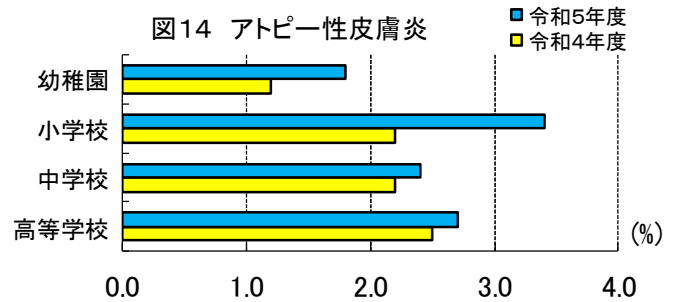
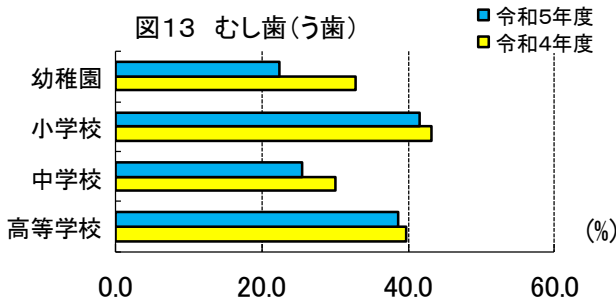
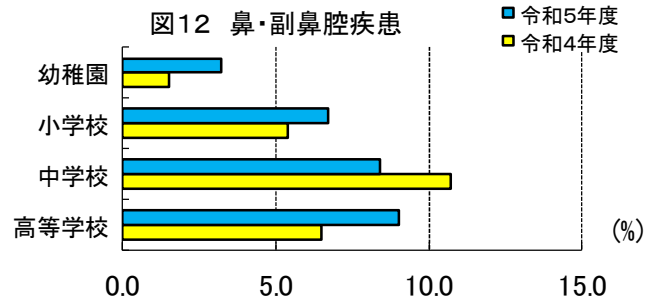
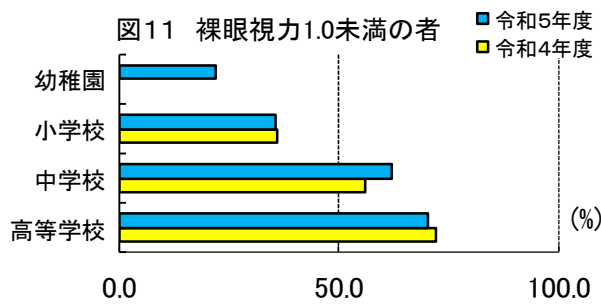


表7 主な疾病・異常の被患率(前年度比較)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔			アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息	
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患者	鼻疾・副鼻腔疾患	口腔疾患・咽頭異常	むし歯(う歯)							
							計	処完了置者	未処置者					
幼稚園	4	X	X	1.0	1.0	1.5	0.6	32.9	14.4	18.5	1.2	...	-	1.1
	5	21.8	1.2	1.6	1.0	3.2	1.8	22.4	7.0	15.4	1.8	...	-	1.1
対前年差	X	X	0.6	0.0	1.7	1.2	△ 10.5	△ 7.4	△ 3.1	0.6	...	-	0.0	
小学校	4	36.0	11.1	0.4	4.3	5.4	1.4	43.2	19.4	23.9	2.2	2.3	0.7	1.2
	5	35.5	10.9	0.5	4.9	6.7	1.4	41.6	20.6	21.0	3.4	2.7	0.6	1.6
対前年差	△ 0.5	△ 0.2	0.1	0.6	1.3	0.0	△ 1.6	1.2	△ 2.9	1.2	0.4	△ 0.1	0.4	
中学校	4	55.9	27.5	0.7	2.1	10.7	1.4	30.0	16.7	13.3	2.2	4.8	2.5	1.3
	5	61.9	28.1	2.2	1.4	8.4	0.8	25.6	15.0	10.6	2.4	4.2	1.9	1.2
対前年差	6.0	0.6	1.5	△ 0.7	△ 2.3	△ 0.6	△ 4.4	△ 1.7	△ 2.7	0.2	△ 0.6	△ 0.6	△ 0.1	
高等学校	4	72.1	47.4	1.1	0.4	6.5	0.5	39.8	23.0	16.8	2.5	3.5	1.1	1.1
	5	70.1	44.7	0.9	0.2	9.0	0.3	38.7	22.7	16.0	2.7	4.2	0.9	1.3
対前年差	△ 2.0	△ 2.7	△ 0.2	△ 0.2	2.5	△ 0.2	△ 1.1	△ 0.3	△ 0.8	0.2	0.7	△ 0.2	0.2	

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。
 2. 「-」は、数値がなかった場合である。
 3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。

②全国比較

- ・「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、中学校、高等学校では全国平均を上回っているが、幼稚園、小学校では下回っている。(図 15)
- ・「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園、高等学校では全国平均を上回っているが、小学校、中学校では下回っている。(図 16)
- ・「むし歯(う歯)」の者の割合は、小学校、高等学校では全国平均を上回っているが、幼稚園、中学校では下回っている。(図 17)
- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園、小学校、高等学校で全国平均を上回っているが、中学校では下回っている。(図 18)

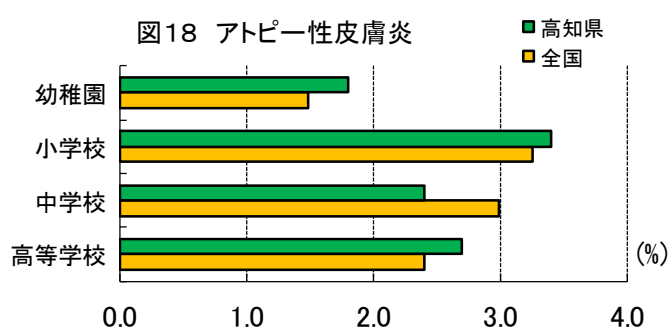
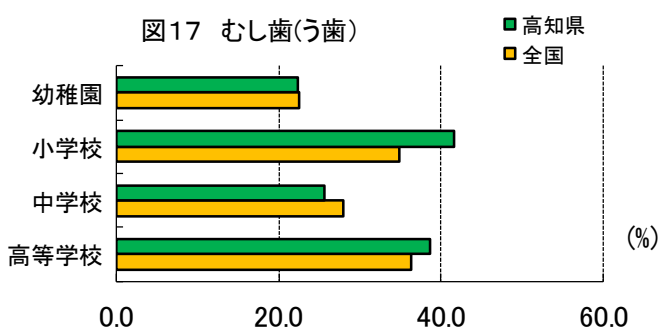
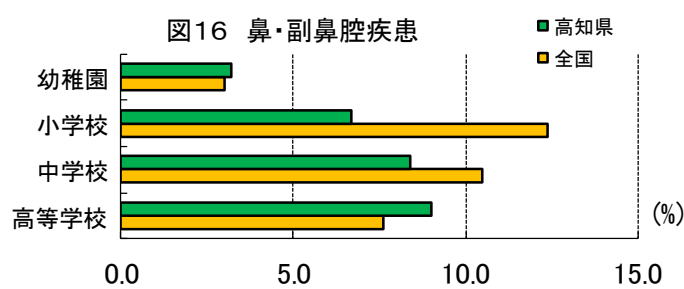
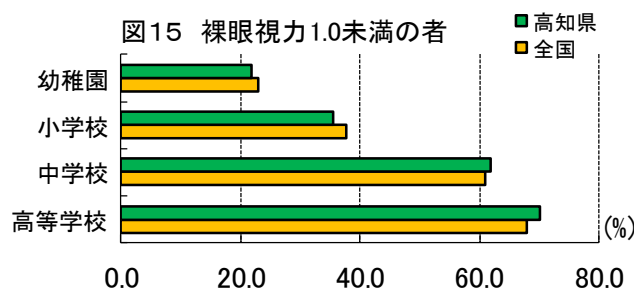


表8 主な疾病・異常の被患率(全国比較)

区分	裸眼視力		眼の疾病・異常	耳鼻咽喉頭			歯・口腔			アトピー性皮膚炎	心電図異常	蛋白検出の者	ぜん息
	1.0未満の者	0.3未満の者		耳疾患者	鼻疾・副鼻腔患者	口腔疾患・咽喉頭異常	むし歯(う歯)						
	計	処完了者					未処置者	のある者					
幼稚園	22.9	0.7	1.6	2.2	3.0	0.8	22.6	8.7	13.8	1.5	...	1.1	1.2
高知県	21.8	1.2	1.6	1.0	3.2	1.8	22.4	7.0	15.4	1.8	...	-	1.1
対全国差	△ 1.1	0.5	0.0	△ 1.2	0.2	1.0	△ 0.2	△ 1.7	1.6	0.3	...	-	△ 0.1
小学校	37.8	11.1	5.3	6.3	12.4	0.9	34.8	17.5	17.3	3.3	2.4	0.8	2.9
高知県	35.5	10.9	0.5	4.9	6.7	1.4	41.6	20.6	21.0	3.4	2.7	0.6	1.6
対全国差	△ 2.3	△ 0.2	△ 4.8	△ 1.4	△ 5.7	0.5	6.8	3.1	3.7	0.1	0.3	△ 0.2	△ 1.3
中学校	60.9	28.3	5.1	4.9	10.5	0.5	28.0	16.9	11.1	3.0	3.2	2.8	2.0
高知県	61.9	28.1	2.2	1.4	8.4	0.8	25.6	15.0	10.6	2.4	4.2	1.9	1.2
対全国差	1.0	△ 0.2	△ 2.9	△ 3.5	△ 2.1	0.3	△ 2.4	△ 1.9	△ 0.5	△ 0.6	1.0	△ 0.9	△ 0.8
高等学校	67.8	39.5	3.6	2.6	7.6	0.3	36.4	22.5	13.9	2.4	3.1	2.5	1.5
高知県	70.1	44.7	0.9	0.2	9.0	0.3	38.7	22.7	16.0	2.7	4.2	0.9	1.3
対全国差	2.3	5.2	△ 2.7	△ 2.4	1.4	0.0	2.3	0.2	2.1	0.3	1.1	△ 1.6	△ 0.2

(注) 1. 「…」は、調査対象とならなかった場合である。
 2. 「-」は、数値がなかった場合である。
 3. 「X」は、疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値の公表なし。